

# AOIRO「あおいろ」

令和7年

## 7月

第16号



今年は畑が大成功大収穫です！  
ゴーヤにキュウリ、カボチャにトマト、なすびにジャガイモ、  
そして…ななな何と！田植えもしちゃいました！  
利用者さんに収穫していただき一緒に調理をしたり、晩ご飯のおかずにとって帰  
っていたり。ハレノヒ前を散歩される方が野菜の写真を撮られた事も♪  
みなさんに喜んでいただけて嬉しい限りです。

さて、今回のAOIROは「認知症施策推進大綱」についてです。  
国の施策がどのようなものなのか  
是非、ご一読いただき皆さんにも知っていただければと思います。  
また、今回はハレノヒの職員紹介も掲載しています！  
ご家族や関係者さんとはお会いする事が少なく  
私たちの"素性?"を知っていただく機会も少ないと思います。  
ユーモアを交えて紹介しています。クスツと笑っていただけたら嬉しいです♡



# 認知症を学ぶ 「認知症施策について」 認知症になっても安心して暮らせる社会をめざして

日本では高齢化が進み、施策を計画された当時、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると予測されていました。認知症は本人や家族だけでなく社会全体の課題であり、これまでの支援体制には地域差や偏見もありました。そこで国は、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現をめざし、2019年に「認知症施策推進大綱」を策定しました。「共生」と「予防」を柱に、全国的な取り組みを推進しています。

## 認知症施策推進大綱の基本的な考え方 ～「共生」と「予防」の両立～

共生（本人と家族を支える）	予防（発症を遅らせる）
本人の意思を尊重する社会づくり	生活習慣の見直し・フレイル予防
地域包括ケアの充実	認知機能チェック・啓発活動
差別や偏見のない環境作り	運動・栄養・社会参加の推進

これまでの認知症支援では、医療や介護の分野が分かれていたり、地域によって支援の差があるなど、十分な対応が行き届かないことがありました。また、偏見や誤解から本人が孤立したり、受診をためらうケースも見られ、さらに、介護する家族の負担が大きく、支える体制も十分とは言えませんでした。こうした課題から、本人の尊厳を大切にしながら地域で共に暮らす「共生」と、発症を遅らせる「予防」の取り組みが必要とされるようになりました。

## 認知症施策推進大綱の6つの柱

### ①普及啓発・本人発信支援

認知症を正しく理解するため、サポーター養成講座や啓発活動の実施。本人の思いや意見を反映する「本人ミーティング」など、本人主体の社会づくりの推進。

### ②医療・介護・生活支援の体制構築

医療・介護・福祉の連携体制を強化し、初期集中支援チームや地域包括支援センターが中心となって、早期支援や継続的な生活支援の実施。

### ③若年性認知症支援

若年で発症した方に向けて、就労や生活の継続を支える支援体制を整備。専門相談窓口を設け、本人や家族が安心して暮らせる環境を整備。

### ④介護者(家族)支援

家族介護者の不安や負担を軽減するために家族教室やつどいの場、レスパイト(休息)支援などを提供。孤立を防ぎ、継続した介護の支援。

### ⑤地域づくりの推進

認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、認知症カフェや見守りネットワークを整備。地域住民と専門職が連携し、支え合う環境づくりの推進。

### ⑥研究開発と産業の促進

認知症の予防・診断・治療に関する研究を進めるとともにICTやAI、介護ロボットなど先端技術を活用した生活支援や関連産業の促進。

制度・取り組み	具体的な内容
初期集中支援チーム	医師・看護師・ケアマネなどの専門職がチームで自宅を訪問。受診やサービス利用につなげ、早期対応を通じて生活の安定を図る短期集中型支援。
認知症地域支援推進員	認知症の本人・家族・地域と医療・介護の橋渡し役。相談や支援調整、地域での啓発活動を担う。
見守りシステム	徘徊時の安全確保のため、GPSやQRコードを活用。地域や警察と連携し万一の場合にも迅速な対応が可能に。
認知症カフェ(オレンジカフェ)	本人・家族・地域住民が集い、交流や相談ができる場所。孤立を防ぎ、認知症の理解を深めるとともに、支え合う地域作りの場所。
若年性認知症支援センター	65歳未満で発症した人と家族を対象に、就労、日常生活、家族の不安などに対して、医療・福祉・労働分野の機関と連携し相談に応じる専門機関。

## 今後の重点分野 ～2025年以降を見据えて～

今後は、「認知症とともに生きる社会」を全国すべての地域で実現することが大きな目標となっています。これまで支援体制に地域差があることが課題でしたが、今後は都市部・農村部を問わず、どこに住んでいても安心して支援を受けられる仕組みづくりが求められます。

また、本人の意思を尊重した支援がより重視されていきます。認知症が進行しても、その人の思いや希望に基づいた生活ができるよう、意思決定支援や「人生会議（ACP）」の活用など、本人が将来について話し合える環境整備が必要とされています。

さらに、AIやIoTなどのデジタル技術を活用し、生活支援の効率化や負担軽減を図る取り組みも進められています。見守り機器や介護ロボット、ICTによるケア記録の自動化などが期待されています。

そして、認知症の人が地域で安心して暮らし、社会の一員として当たり前で過ごせる「認知症フレンドリー社会」の実現が目指されています。差別や偏見のない地域づくりと、本人が安心して参加できる場の整備が重要です。

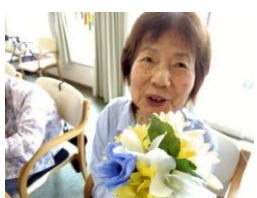
認知症は誰もがなり得る身近なものです。認知症になっても、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けられる社会を実現するには、国や自治体の施策だけでなく、地域住民一人ひとりの理解とあたたかい支えが不可欠です。私たち全員が支え手として関わり、認知症とともに生きる共生社会を築いていけたらと切に願います。



令和7年5月～

令和7年7月

ハレノヒの様子





# 個性派ぞろい!?

## ハレノヒ

### 職員紹介

\*実物とイラストのギャップを  
楽しんでください

認知症対応型デイ Second Place  
指定居宅介護支援事業所



・メールを打てば誤字脱字の魔術師

・風邪とは一切お友達にならない鉄の免疫力  
・利用者さんの話になると瞬時にスイッチオン!の熱血タイプ

Second Place ハレノヒ/介護福祉士/認知症ケア管理指導士/生活相談員/友田(ともだ)



・静かそうに見えるけど油断は禁物...突如ミュージカル開幕の天才パフォーマンス  
・仕事モードに切り替わるとまるでスナイパーのよう  
・看護師としての判断力がキレッキレの頼れる姉さん

Second Place ハレノヒ/看護師/機能訓練指導員/白間野(うすまの)



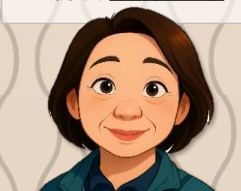
・裁縫針と包丁を自在に操る器用なインテリ職人  
・利用者さんに楽しんでもらいたくてゲームも大量生産  
・表向きサラッとしたが頭の中は常に利用者さんの事でフル稼働

Second Place ハレノヒ/介護福祉士/生活相談員/介護支援専門員/富田(とみた)



・笑いのDNA搭載!ハレノヒのセカンドパーフォーマー 仮装でも何でも全力投球  
・仕事は淡々とクールにキメつつ暖かさあふれる人情派  
・ミスると1人反省会を3部構成で開催

Second Place ハレノヒ/介護福祉士/富田(とみた)



・どんなにうるさい職場も華麗にスルー♪  
・仕事はサクサクこなし利用者さんへは神のように対応  
・年齢に逆らう可愛さ絶賛キープ中

Second Place ハレノヒ/介護福祉士/介護支援専門員/川上(かわかみ)



・利用者さんも職員も感動 高級老舗旅館もびっくりの丁寧さ  
・先輩の無茶ぶりも笑顔で華麗にクリア  
・頼れるオールラウンダー

Second Place ハレノヒ/介護福祉士/安達(あだち)



・海外一人旅もお手の物 パスポート片手にどこでも行ける行動力モンスター  
・いつも謙虚で控えめだけど実は看護師スキルがレベチ  
・国際対応/ハイスベック人材

Second Place ハレノヒ/調理員/看護師/下岸(しもぎし)



・利用者も職員もおかわり続出 胃袋だけじゃなくハートも奪われる要注意人物  
・辛いものでも甘い物でもレパートリーは無敵だ どんなりクエストもなんなくこなす

Second Place ハレノヒ/調理員/平島(ひらしま)



・職場では仏、家では鬼に変化する二重人格疑惑あり 趣味は介護と畑仕事 トラクターも乗りこなす なぜか走るとみんなが笑う...

・好感度センサー並にみんなの変化を察知  
Second Place ハレノヒ 管理者/指定居宅介護支援事業所/ハレノヒ/介護福祉士/介護支援専門員/認知症ケア管理指導士/



・教えるうまさは国家資格級 介護保険の歩く教科書にして利用者第一のガチ職人  
・休みの日は家族との時間を大事にする良きパパ 娘とお菓子も作ります♪  
・最近 ちと膝が痛い

指定居宅介護支援事業所/ハレノヒ 管理者/主任介護支援専門員/介護福祉士/久川(ひさかわ)



・介護保険の知識が国宝級 ちょっと聞けば即回答 相談すれば即解決

・正確に見抜く判断力と知識、経験を十分すぎるほど兼ね備えた頼れるプロフェッショナル

・実は料理も超ウマイ  
指定居宅介護支援事業所/ハレノヒ/主任介護支援専門員/介護福祉士/中村(なかむ)



実際どう？

## 認知症の家族を介護する方へ インタビュー

まずは、ご本人の年齢と現在の介護度、主に介護をされている方の年齢をおねがいします。

本人は現在73歳、今は要介護1の認定を受けています。私は43歳です。

現在利用している介護保険サービスを教えてください。

認知症対応型のデイサービスを週4日利用しています。

最初に認知症かなと思ったきっかけは？また、受診の時は本人に何と声をかけましたか？

当初は加齢によるもの忘れと思っていましたが、同じ内容を何度も尋ねる頻度が増えたこと、料理のレパートリーが大幅に減ったこと、曜日・時間の感覚がなくなったことなどから、認知症かもしれない考えるようになりました。

受診の時は「もの忘れが増えてきて、家族としても心配だから、一度病院で診てもらおう」と伝えました。本人ももの忘れが増えたことを自覚していたため、受診には納得してくれま

認知症の確定診断は受けておられますか？現在は認知症に関するお薬は使用していますか？

かかりつけ医より認知症の診断を受けています。

現在は認知症の進行を遅らせるための薬（ドネペジル塩酸塩）を服用しています。

現在は主にどのような介護をされていますか？また介護を続ける中で何が一番不安ですか？

本人は自立して動けるため身体的な介助は必要なく、日常生活の見守りやサポートが中心です。具体的には、スケジュール管理、服薬管理、金銭管理、外出（買物、通院など）の付き添いなどを行っています。また、本人が急に不安や心配な気持ちになることもあるため、気持ちに寄り添い安心感を持ってもらえるよう努めています。

介護を続ける中で最も不安なことは、認知症の進行によって今後どのような状態になっていくのかが予測できず、適切に対応できるかどうか分からないことです。今後の備え方についても不安があります。また、私自身の体力や精神面の負担についても不安の一つです。

家族が認知症だと周囲へ伝える事に抵抗を感じますか？また、周囲に知らせた場合の反応はいかがでしたか？

特に抵抗は感じませんでした。親戚や近所の知り合いに伝えたところ、多くの人が理解を示してくださり、必要な配慮やサポートを受けやすい環境になったと感じています。また、私の勤務先にも伝え、介護と仕事の両立が必要であることを理解していただき、勤務時間や業務量の調整を行っていただけました。

本人に対し怒ってしまったりイライラしてしまう時はありますか？

同じことを何度も聞かれたり、私の言うことがうまく伝わらなかったりすると、正直イライラしたり強い口調になってしまうことがあります。それは、たいてい私自身に心の余裕がないときだと感じています。そういうときは、一旦その場を離れたり、深呼吸して気持ちを切り替えたりして、自身の気持ちを落ち着かせてから、改めて穏やかに接するように心がけています。

介護をしている人は趣味をしたりと自分の時間を楽しむ事はできていますか？

正直なところ、自分の時間を楽しむことはほとんどできていません。リフレッシュの時間を取りたい気持ちはありますが、実際には自分のことは後回しになりがちです。今後は少しでも自分の時間を確保できるように努めたいと思っています。

介護が始まった前後で生活に変化はありましたか？また、どのように変わりましたか？

介護が始まってから、通院への付き添いや日常の見守りなど家庭で担う役割が増えました。その影響で仕事を休まざるを得ない日が増えました。前述の通り、勤務先に事情を伝えて、勤務時間や業務量の調整を行っていただけました。

最後に、介護をしている人、今後介護を始める可能性がある方へ一言お願いします。

本人に認知症の症状が見られてから、「もしかして…」と思いながらも、介護保険の認定手続きに踏み切るまで時間がかかってしまいました。もっと早く相談していれば、専門的な支援を受けることで本人は落ち着いて過ごせる時間が増え、不安や混乱を軽減できたのではと思います。これから介護を始める方には、「まだ大丈夫かな」と思う段階でも早めに自治体や地域包括支援センターなどに相談することをおすすめします。制度やサービスを活用し、ご自身の心身の健康も大切に、無理せず介護と向き合ってほしいと思っています。

今回も実際に認知症を発症されたご家族を介護する方にインタビューをさせていただきました。ご自宅で介護をされている方や、今後、介護が必要になりそうだな…と思う方へのメッセージや介護のヒントになればと思います！ご協力いただいたき本当にありがとうございました！

あい  
う  
ひらがな  
パズル

脳のトレーニングに  
チャレンジ

Let's  
Challenge!



2つの単語が完成するように□にひらがなを入れましょう

	さ	
み	□	ん
	こ	

	う	
き	□	い
	い	

	こ	
ほ	□	ん
	し	



お知らせ



## 9月21日(日) 山東コミュニティセンターにて 第8回 「うえきコミュニティ食堂」 開催します

8回目の開催です！今回もたくさんのご協力、協賛いただき感謝です！

みなさんは是非遊びに来てくださいね♪



参考ウェブサイト/記事

- ・認知症施策推進大綱について 厚生労働省HPより
- 使用イラスト
- ・フリーイラスト素材集 KuKuKeKe (kuku-keke.com)
- ・無料のフリー素材イラストエイト (illust8.com)
- ・かわいいフリー素材集いらすとや (irasutoya.com)

※認知症の方に関わり続けて21年。これまでの経験と、無い頭に詰め込んだ情報も織り込みながら作成している冊子です。



「できること」を増やすのも必要。でもきっと、  
「楽しめること」が増えると  
もっとステキな人生になりそう



第二の居場所  
Second Place **ハレノヒ**  
認知症対応型共同生活介護事業所/宿泊・デイ利用費用サービス事業所  
事業所番号4390102764

〒861-0136 熊本市北区植木町岩野939-1  
tel 096-245-6882 fax096-245-6883  
Email : harenohiday@outlook.jp